

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

福知山市

事業名

特別支援教育推進事業（特別な支援を要する児童生徒の増加への対応）

事業の経過・背景・課題

本市では、就学前スクリーニング・思春期スクリーニングの実施や、移行支援シート等の活用により、発達障害等の早期発見、早期支援及び円滑な移行を行い、発達障害を含む障害のある子どもの生涯にわたるつなぎの支援を行っている。

通常の学級に在籍する特別な教育的支援を要する児童生徒が増加し、様々な教育的ニーズへの対応が求められる中、発達課題等、読み書きに困難のある児童を早期に発見し、その特性に応じた支援を行う必要がある。

取組内容

交付実績額： 1,760 千円

発達課題等、読み書きに困難のある児童の早期発見と特性に最適化されたレッスンを提案する学習支援ソフトウェア「まるぐランド」を導入し、基礎学力の向上を図る。

児童の特性の確認分析と確認分析結果に応じて個別学習に適応したレッスンを提供

○まるぐランド

- ・チェックリストでの特性の把握
- ・個別最適化されたレッスンを自動提案
- ・児童の取組の様子や成長を可視化



事業の成果・今後の展望等

読み書きに困難のある児童を早期に発見し、特性に配慮しながら個に応じた方法で読み書きスキルをつけることにより、学習基盤を作り、基礎学力の向上を図ることができた。

令和5年から3ヶ年計画で、読み書きの発達特性の確認と個別最適な学習を支援するソフトウェアを活用した学習支援を実施する。

問い合わせ先

福知山市教育委員会学校教育課（0773-48-9520）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

福知山市

事業名

子どもの教育環境充実事業

事業の経過・背景・課題

教職員が心身ともに充実した状態で意欲と能力を十分に発揮できる環境を整えることは、学校への児童生徒に関わる多様かつ複雑なニーズに対し丁寧に向き合う時間を確保することにつながるため、本市では、教職員の様々な業務改善や働き方改革の取組を行っているが、依然として教職員の長時間勤務が続いているという課題がある。

取組内容

交付実績額： 100 千円

働き方改革スーパーバイザーを委嘱し、教職員の時間外勤務縮減や業務負担軽減の方策について検討を行う「市立学校教職員の勤務実態に関する検討会」において、助言や先進事例の紹介を受けた。また、連携研究推進校において、スーパーバイザーを講師とする研修会を実施し、教員本来の役割について考えるとともに、質の高い教育を提供するための具体的な取組や教職員のやりがい向上につながる助言を受けた。



(実施スケジュール)

- ・令和6年8月・11月・令和7年1月：市立学校教職員の勤務実態に関する検討会
- ・令和6年5月・6月・8月・10月・11月・令和7年1月：連携研究推進校研修会（計9回）

事業の成果・今後の展望等

「市立学校教職員の勤務実態に関する検討会」では、働き方改革に係る全国の事例を基に、本市でも導入可能な提案をいただくことで、活発な議論と実践につながった。

また、研修の実施により、教員の意識変容にも寄与したものと考えており、少しずつではあるがそうした実践や意識変容が、教員の子どもと向き合う時間の増加や豊かな学びの場につながっている。

学校運営を安定させ、子どもたちの豊かな学びの機会を確保するために、引き続き、働き方改革スーパーバイザーの活用により、更なる教職員の業務改善に向けて取り組む。

問い合わせ先

福知山市教育委員会学校教育課（0773-48-9520）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

福知山市

事業名

学校図書館充実事業

事業の経過・背景・課題

学校図書館は、児童生徒が図書等に親しむとともに、調べ学習に活用する等、新しい知識や能力を向上できる学びの場であり、図書や読書に関心がもてるような取組を充実する必要がある。

しかしながら、図書館教育担当の教員等、学校の配置人員だけでは、日々の学校図書館の運営や図書に関心を持つ取組を十分に行なうことが難しい状況がある。

取組内容

交付実績額： 2,533 千円

- ・市内小中学校23校のうち7校を拠点校とし、複数校を兼務する方法により、全校へ学校司書を配置した。
- ・配置された学校司書は、学校図書館の環境整備や購入図書・寄贈図書の受入れ、蔵書修繕・廃棄等の管理業務、図書の情報収集・提供、授業に必要な図書資料の準備、よみきかせなどを行った。



事業の成果・今後の展望等

- ・各校、学校司書と図書館教育担当教諭が連携・協力し、学校図書館の運営を充実させることにより、児童生徒の読書活動の推進を図るとともに、学校になじみにいき児童生徒の居場所としての機能も果たすことができた。
- ・今後も学校司書の配置を維持し、児童生徒の読書への興味関心を引き出し、図書に触れる機会を増やす取組を継続していく。

問い合わせ先

福知山市教育委員会学校教育課 (0773-48-9520)

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

福知山市

事業名

スクールソポーター配置事業

事業の経過・背景・課題

学校には、障害がある児童生徒や、日本語の理解が難しい児童生徒など、多様な子どもたちが在籍している中、学校生活や学習活動においては、特別な配慮や支援を行い、本人を含め全ての児童生徒が安心して学習に向かえる環境を整えることが必要である。

支援を必要とする児童生徒は年々増加している一方で、通常学級に配置されている職員だけでは、個々の状況に応じた細やかな対応は難しいことが課題としてある。

取組内容

交付実績額： - 千円 ※セット新規

(※) 本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により
教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

学校生活上課題の大きい児童・生徒をサポートするため、
指導補助員としてスクールソポーターを配置。



事業の成果・今後の展望等

支援を必要とする児童・生徒に対し、スクールソポーターを配置できたことで、適切な支援を行うことができ、対象児童・生徒の安心・安全な学校生活に寄与することができた。

支援を要する児童・生徒の実態を把握し、適切な配置を行うことは必要不可欠であり、今後も継続実施を行うが、学校の配置要請に対し、配置できる人数は限られるため、他の制度（府事業等）の活用も加味したうえで、真に必要な児童生徒に対する配置を行い、学びを保障していく必要がある。

問い合わせ先

福知山市教育委員会学校教育課（0773-48-9520）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

福知山市

事業名

子どもが主役 自ら考える「学び」と「居場所づくり」事業

事業の経過・背景・課題

本市では、不登校となる児童生徒数が、全国や京都府全体と比較して近年高い出現率となっており、その対応のため教育と福祉の連携による「福知山市型多様な学びアクションプラン」を推進している。

しかし、不登校児童生徒の中には、「けやき広場」、別室登校といった教室以外の「学びの場」や教育相談機関につながれておらず、見通しが持てないケースや不登校が長期化しているケースがあった。

児童生徒にとっての学びの場や居場所として、学校・けやき広場・家庭以外の、一人一人の状況に応じた多様な選択肢が必要であることから、家庭への寄り添い支援を担当する市長部局の子ども政策室と保健福祉の専門職（社会福祉士・保健師等）、教育委員会で構成する不登校支援連携チームを発足した。

さらに、教育機会確保法に基づく多様な学びの機会を保障するため、本市の多様な学びの場・居場所の核となる「公設フリースクールの設置」に向け、検討を重ねてきた。

取組内容

交付実績額： 10,897 千円

多様な学び、安心できる居場所「SIROらば」の確保

- 学校に行けないが、自宅以外の場所で過ごしたい子どもや、あるいは自宅から出にくい子ども向けに、学びや社会体験の機会となる居場所を設置。
- 多様な学び推進連携チームで関わるケースに子ども政策室の相談員から声かけを行い、支援員と1対1の関わりを基本として、希望に応じて時間を決めて利用できる（予約制）
- 決められたプログラムではなく、利用希望する児童生徒が何をしたいかに応じ一緒に考えながら活動を実施。
- 活動内容は、ボードゲームやオセロ、トランプ、ジンガといった遊びや、クッキング、カバン作り、教科学習など子どもたちが興味を示す学び、体験活動を実施。
- 月1回の休日個別相談会及び保護者同士の交流会の開催。



事業の成果・今後の展望等

- ・多様な学びの居場所となる『SIROらば』（予約制）を令和5年5月に開設、加えて令和6年5月からは『SIROらば+』（フリースペース）も開設した。令和6年度末現在でSIROらば実人数36人、延人数834人、SIROらば+実人数21人、延人数369人の利用があり、様々なニーズのある子どもの利用があり多くの変化も見られた。
- ・相談時に保護者の状況に合わせて面談の手法も検討し、子どもの興味があるうちに見学、利用に繋げている。見学後、学校のアナザークラスを選択する子どももあり、子ども自身が自分に合った居場所を選べる環境が整いつつある。
- ・専門職の相談については、SIROらばの見学を経て即利用に繋がる子どもも多く、継続での相談件数としては横ばい傾向であった。SIROらばにも繋がっていない子どもに対しては、自宅訪問を望まれない場合も多く、保護者と定期的に連絡を取り合ったり、語らいらばで交流を行いつつ支援を継続している。
- ・課外活動も経て、子ども達の居場所での過ごし方も幅が広がり、より子どもたち主体の居場所の運営が望まれるため、今後は、大人が決めた時間枠ではなく、子ども自身が利用日時を決め、ピア活動（仲間同士の支え合い）など主体的に活動できる環境を整えていく。

問い合わせ先

福知山市こども家庭部こども家庭支援課（0773-24-7066）

福知山市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

市立学校アナザークラス（A組）開設事業（不登校児童生徒の増加への対応）

事業の経過・背景・課題

本市では、不登校となる児童生徒数が、全国や京都府全体と比較して近年高い出現率となっており、その対応のため教育と福祉の連携による「福知山市型多様な学びアクションプラン」を推進している。

このプランに基づき、登校ができるが様々な要因により所属学級になじめず別室登校、放課後登校等の状況にある児童生徒に対して、学校内でのもう一つの居場所を設置し、個別の学習支援や社会的自立に向けた見守り等を進め、社会で生きる力の育成に取り組む。

取組内容

交付実績額： 2,247 千円

所属する学級等ではなく、別室や放課後に登校する児童生徒に、学校内でのもう一つの教室（アナザークラス（A組））を設置

- ・学校でのもう一つの居場所と多様な学びの場を確保
- ・アナザークラス（A組）では、支援員や教職員等学校全体で、児童生徒に寄り添いながら個別の学習支援や社会的自立に向けた見守りを進める。
- ・児童生徒が自分で学習計画を立て、自分のペースで学習ができる環境を整備



事業の成果・今後の展望等

校内に設けたもう一つの教室（アナザークラス（A組））により「福知山市型多様な学びアクションプラン」を推進し、不登校児童生徒の多様な学びと居場所を確保できた。

本人の希望により元の所属学級の授業や行事に自由に参加できるなど、不登校児童生徒一人ひとりのニーズに対応できるよう、今後も、不登校児童生徒の多様な学びと居場所を確保していく。

問い合わせ先

福知山市教育委員会学校教育課（0773-48-9520）

福知山市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

心の居場所づくり推進事業（不登校児童生徒の増加への対応）

事業の経過・背景・課題

本市では、不登校となる児童生徒数が、全国や京都府全体と比較して近年高い出現率となっており、その対応のため教育と福祉の連携による「福知山市型多様な学びアクションプラン」を推進している。

不登校及び長期欠席傾向となる児童生徒が増加する中、児童生徒の個々のニーズや多様な学びへの対応を十分に進めるため、「けやき広場」の機能を充実する。

取組内容

交付実績額： 4,916 千円

「けやき広場」に指導員・相談員を配置し、学校との連携のもと不登校傾向の児童生徒に対し、学習支援や小集団による活動などを行う。

個々に応じた支援により児童生徒の主体性・自発性の育成やコミュニケーション能力の向上を図る。いろいろな経験や体験を通して自信をつけ新しい一步を踏み出すエネルギーを蓄え、ゆるやかに前進できるよう支援を行う。

※けやき広場・登校にくい小中学生のために不安や悩みを解消できるよう、保護者・子ども・学校とともに取り組んでいく場（学校外に設置）



事業の成果・今後の展望等

けやき広場に指導員・相談員を配置し、不登校傾向の児童生徒の悩み、不安・ストレス等を解消するため個別に対応することにより、子どもが安心して学校に登校することができるようになった。

今後も、子どもへの丁寧な対応や適切な援助・指導体制をとるとともに、個々に応じた支援により、主体性、自発性の育成やコミュニケーション能力の向上を図り、自立支援を促進していく。

問い合わせ先

福知山市教育委員会学校教育課（0773-48-9520）